

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.37 March 2013

第4回研究会を開催 12月15日(土)

第4回研究会は、「人・企業の弱み、強み認識を！事故・災害防止のための実践的対応」をテーマに講演会を開催いたしました。当日は39名の会員・先生が参加しました。

今回も本会企画担当の株式会社アスク 武内博資氏が司会を務め、流暢な弁舌も含めて、大変活気ある研究会となりました。さらに、休憩時間を利用して、一般財団法人移動無線センターより、資料展示と800MHz帯デジタルMCA無線の説明が行われました。併せて、東日本大震災等のBCPについて、また、関西大学社会安全学部について、パネル展示をいたしました。

また、今回は講演者と会員企業のパネルディスカッションの機会を設け、活発な意見交換が行われました。研究会終了後の交流会では、講演者や多くの会員企業が参加し交流を深めました。

1 「ヒューマンエラーの処方箋」

関西大学社会安全学部 教授 中村 隆宏 氏

当日は、会場全体を巻き込んでの講演、会場参加型討議にて「ヒューマンエラー」についての認識を深めました。一般的な説明・解説の後、動画で画像を見せ、質問を挟み、その回答を示し説明を加えつつ、テーマの真髄に迫っていく講演でした。一方的な講師による講演ではなく、会場参加型でわかりやすい講演だったので、参加された会員企業の皆様には非常に参考になったものと確信しております。

- ＜講演内容＞
- ・ヒューマンエラーとは
 - ・エラーへの対処方法の妥当性
 - ・防止対策の具体的展開
 - ・災害事例から何を学ぶ
 - ・ヒューマンエラーの処方箋



2 「東日本大震災後のBCPと危機管理体制の再構築」

関西大学社会安全学部 教授 高野 一彦 氏

東日本大震災は甚大な被害をもたらし、施設・設備や交通インフラの被災、大規模停電サプライチェーンの寸断等により、操業停止や従業員の出社が困難になる等企業活動に大きな影響を与えました。このような大規模災害等様々なリスクに備え、事前にBCPを策定し、危機管理体制を整備しておくことは、非常に重要です。

講師の高野先生は、そのお人柄から非常にまじめな話しぶりで、ご自身のご経験をもとに、BCPの最近の動向を踏まえつつ講演を進められました。危機発生時の経営者、幹部の経営判断のためのトレーニングの重要性を指摘し、クライシス・シミュレーション・トレーニングは有事の経営判断力を養うためには有効であると主張されました。

- ＜講演内容＞
- ・企業のリスクマネジメントにおけるBCP・危機管理の位置づけ
 - ・企業におけるBCP策定の経緯と現状
 - ・東日本大震災における企業の危機管理と見えてきた課題
 - ・東日本大震災における企業の対応状況と課題
 - ・BCPと企業価値—誠実に取り組む企業が評価される社会—
 - ・アメリカにおける行政のクライスマネジメント—事前の準備に力を入れる取組み



3 講師・会員企業によるパネルディスカッション

コーディネーター： 小澤 守 氏

パネリスト： 中村 隆宏 氏／高野 一彦 氏／

武内 博資 氏(株)アスク)／

北垣 壽 氏(大阪冶金興業(株))

小澤先生による、一流のパネルディスカッションのコーディネーターで、パネリスト

や会場を巻き込んで「ヒューマンエラー」や「BCP」についてのさらに踏み込んだ討議がなされました。

最後には、社会安全学部での実践的取組みの事例紹介があり、社会の要請に応え「安全・安心」を追究する当学部の人材育成教育の今後の期待、抱負にて有意義にパネルディスカッションを終えられました。



アンケート集計結果

今回は9件の回答を得ました。その中で、研究会の内容については、「参考になった」「やや参考になった」が89%、「理解しやすかった」「やや理解しやすかった」が78%、「長さも適当」が89%でした。

また、「関心のある技術分野」については、「機械・メカトロニクス」「ものづくり・加工」「環境・エネルギー」との回答が多く、「知りたい情報」については、「実用化が期待される研究成果」や「研究者の研究内容・専門分野」との回答が多くありました。そのほか、「ヒューマンエラーの研究テーマで年1~2回定例化してはどうか」といった回答もありました。

これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第5回研究会を開催～第17回先端科学技術シンポジウムに参加～

科学技術振興会では、1月29日（火）、30日（水）に開催された第17回先端科学技術シンポジウムにおいて振興会セッションとして、第5回研究会を開催しました。会員をはじめ同シンポジウム参加の多くの方々に本振興会のパネル展示をご覧いただきました。

先端機構における一年間の研究成果の集大成としての同シンポジウムは会を重ねるごとに盛況となり、今回も企業や研究機関等から延べ1062人の方にご来場いただきました。



お知らせ

公益社団法人砥粒加工学会「先進テクノフェア(ATF2013)」を後援

3月7日（木）～8日（金）に「2013年度砥粒加工学会 先進テクノフェア(ATF2013)」が開催され、本振興会も後援し、5万円の寄付をいたしました。

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅“団地”の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究プロジェクト」展覧会を後援

3月25日（月）～27日（水）に「展覧会：団地再編 住みよいまちへ2012 海外等の団地再生先進事例の動向とわが国におけるストック活用型団地再編への展望—関西大学戦略基盤・団地再編プロジェクトからの提案—」が開催され、本振興会も後援しました。

振興会のホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>

関西大学HPからサイト内検索で「振興会」を入力してください

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University